

平成27年度エイズ予防財団助成事業実績報告書

実施団体	特定非営利活動法人akta	
実施事業名	東京都の高校生を中心とする若年層に対する、HIV/AIDSの普及啓発事業	
団体代表者	理事長 岩橋恒太	
事業の目的	性行動、およびその興味が活発になるティーンエイジャーがHIV/AIDSをはじめとした性感染症についての正しい知識を持って予防行動をできるようになる事。そして、この活動を継続・発展していくために、対象となるティーンエイジャーからHIV/AIDSの啓発普及に関心を持つ人材を育成する。	
事業の達成度	①一般社団法人 人間と性 教育研究協議会や高校との意見交換を行い、学校教育への介入の現状把握ができた ②学生に限定されない若年層への介入機会としてTURNフェス、迂回路研究フォーラム等と協働し、若者とその親、教育関係者との意見交換や資料提供を行うことができた ③このプロジェクトに参加してきた学生スタッフが卒業後養護教諭となり、セクシャルヘルスの講演を実施するまでに成長した。	
事業実績	対象となった人数	都内の高等学校(都立・私立) 427校 高校養護教諭、および高校生。(推計 約370,000人以上)
	具体的な活動内容	<p>高等学校等への資料の制作・提供</p> <p>①都内高等学校427校への資料発送(ポスター・カード・リーフレット・ローション付きコンドーム)②生徒への配布を希望する高校への追加発送(中央大学高等学校 500人・足立区立新田高等学校 184人)③九州の日田高校の取り組みへ資料提供(日田高校 20人・日田高校定時制 80人・日田三隅高校 20人・日田林工高校 20人・昭和学園高校 20人・藤陰高校 20人・玖珠美山高校 20人)④SCORA(生と生殖・AIDSに関する委員会)による北海道札幌琴似工業高等学校での講義へ資料提供(2015/11/2)</p> <p>講演会の実施・講師派遣等</p> <p>①倉吉農業高等学校(2015年9月29日「考えよう多様な自分たち」)※このプロジェクトで育成したスタッフが鳥取県で養護教諭となり講演会を企画・実施 ②多摩ジェンダー教育ネットワーク報告会 講演(2016年1月28日)※多摩府中保健所・ICU大学と協働 ③都立足立西高校(2015年12月21日「保健講話」)※高校1年生を対象</p> <p>意見交換会の開催</p> <p>①東京都福祉保健局(2015年5月21日)②都立足立西高校(2016年1月22日)③都立中央大学高等学校(2016年1月19日)④一般社団法人 人間と性教育研究協議会(2016年2月5日)⑤都立高等学校保健研究会に意見交換の場を設けることを提案</p> <p>イベントの実施・参画・協働</p> <p>①東京迂回路研究フォーラム(2015年9月5日トークセッション「共に生きるということ」& LIVE「LivingTogether x 東京迂回路研究」NPO法人多様性と境界に関する対話と表現の研究所・東京都・アーツカウンシル東京)※HIV/AIDSのリアリティの共有による啓発普及 ②都立足立西高校文化祭(9月18日-19日「心と身体の情報コーナー」)③TURNフェス(2016年3月4日-6日 東京都美術館)※東京オリンピックの文化プログラムの展開に向けた東京都のモデル事業。多様な人々の出会いを促し、ともに表現できる場の創出をアートプロジェクトとして位置づけ、そのための環境整備や社会モデルの考察に取り組むプロジェクトに参画・ブース出展し、都内427校の養護教諭に来場を呼びかけ、啓発普及とネットワークづくりを行った。来場者(2,111人)全員に対して資料を手渡し、コミュニケーションをとった。</p>

講師派遣・文化祭出展(都立足立西高校)



文化祭展示ブース



保健室ポスター展示



講師派遣

TURNフェス(東京都美術館)



展示ブース



フライヤー(イベント概要)

東京迂回路研究フォーラム



陽性者の手記の朗読



トークセッション